

講習の名称：ネット長時間接触による心と脳・体の発達障害と学校での指導

担当講師：伊藤賢一（群馬大学社会情報学部教授）

大谷良光（弘前大学教育学部元教授）

成田弘子（白梅学園大学前特任教授）

講習開講日：2019年8月24日（土）

時間数：6時間

主な受講対象者：幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭

キーワード：ネットの長時間使用による健康リスク、視聴覚神経の発達障害、睡眠障害、脳の発達障害、情報モラル教育

講習の概要：

児童生徒のネット・ゲームへの長時間接触が問題視される中、脳・視聴覚等の発達障害、睡眠障害による発達不全等が医学研究の中で明らかにされつつあります。子どもの健康問題に注視している方は子どもの異変に気づいていますが、社会的認知は遅れています。発達障害・健康被害の事実・現象とネットとの相関関連、エビデンスを分析し、参加者と共に学校での指導のあり方を考えます。演習も重視し学校で啓発講演を行える力量の形成をめざします。

講習の展開：

第1時限 情報モラル教育とネットリスク教育、ネット・スマホの長時間接触による健康被害の全体像（伊藤賢一・大谷良光・成田弘子）

第2時限 視聴覚神経の発達障害と睡眠障害による発達不全（大谷良光・成田弘子）

第3時限 スマホによる脳の発達障害の現状とその要因・対策（大谷良光・成田弘子）

第4時限 ネットリスクを克服する学級・学校での指導・模擬プレゼン（成田弘子・伊藤賢一）

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

子どものネットによる健康被害について学校での指導が必要とお考えの方でしたらどなたでも歓迎します。PowerPointを使った講義を行い、受講されたみなさんにはわれわれが制作したパワポ教材の一部を提供できます。模擬プレゼンを実施し、秋から子どもや保護者の啓発・指導にご活用ください。

授業の形式：講義およびグループ討論・発表

履修認定試験：論述形式の実践的内容の筆記試験を課します（配布資料の活用可）。

テキスト・参考文献：

◎基本的な資料は全てプリントとして配布します。また、ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会発行のテキストを無料でお配りします。

◎参考図書は講義の中でお伝えします。